議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴調査会記録

平成 27 年 8 月 10 日(月)

16 : 15 ~ 17 : 00

議会 第1委員会室

【出席者】 田畑委員長、笹田副委員長
 足立委員、柳楽委員、森谷委員、野藤委員、
 布施委員、岡本委員、澁谷委員 牛尾昭委員

【事務局】 外浦次長、田中書記

議 題

1 地域井戸端会～市民と議員の意見交換～ の運営について

- ・会の進め方について
 - グループトーク（5～6人程度）

各会場にて参加人数が異なるので、臨機応変に対応（途中参加も同様）
 - ワールドカフェ方式

与えられたサブテーマについて各テーブルで5～6人がまず議論し、次に議員【ファシリテーター】以外は他のテーブルへ移動し、そこの議員【ファシリテーター】から前の議論の内容を聞いてからさらに議論を深め、これを繰り返した後に、各テーブルの議員【ファシリテーター】がまとめ、全体に発表する。（参加者が発表してもよい）
 - 模造紙・付箋を使用

各テーブルで模造紙・付箋を用意する。

各自意見を記入し、意見を述べてもらい模造紙に貼る。
- ・調査会の決定事項を8月12日の全員協議会で全議員に周知する（別紙）

【議事の経過】

[16時 15分 開議]

田畑委員長 大変お疲れ様です。ただいまから議会広報広聴調査会を開催します。副議長は講師先生の接待ということで席を外しておられますが、終わりましたらこられると思います。

1. 地域井戸端会～市民と議員の意見交換～ の運営について

田畑委員長 議題ですが、このたび計画しています井戸端会に対して市民の皆さんと議員との意見交換会の運営についてということです。今日ある程度研修をして、ある程度どういう手法が良いかの意見集約をして、集約したものを12日の全協が終わった後に各議員の皆さんに説明したいと思っています。それぞれの会場における運営方法について、ご意見をいただきたいと思えますのでよろしくをお願いします。

笹田副委員長 今日この紙を貰ったと思います。一番後ろを見て、皆さんで色々話し合ってもらって、意見をいただけたらと思っていますのでよろしくをお願いします。進め方とか形とか。

岡本委員 手法ということではなくて。

笹田副委員長 手法です。

岡本委員 ちょっと良いですか。視察をした鎌倉ですか、あの中の手法もこのたび我々が後半でやった手法もワークショップ手法なので、実際は議員さん経験をされているので、ワークショップの手法をご存知という所から、だいたい一会場そんなにたくさんおられない所も含めて、そういう手法を取れば意見が出やすいんじゃないかと私は感じています。

笹田副委員長 5、6人程度の。

岡本委員 5、6人程度。

田畑委員長 牛尾昭委員。

牛尾昭委員 岡本委員とダブることもあるんですが、各会場でテーマをいくつか決めて、今日の講師と間で話したんだが、例えば3つテーマがあればA、B、Cというテーマを事前に作って順番に、ファシリテータだけは残って市民の方が色々やってそれぞれAのテーマ、Bのテーマ、Cのテーマをやるということで。3つのテーマを順番にやるのはやるんですが、そういう形が一番、鎌倉もそうやっていますしそれが良いんだろうなと思いました。

笹田副委員長 例えば金城なら、農業と観光で、その中から3つ分けるということで良いですか。

- 牛尾昭委員 3つ。今日も言われたようにあのチラシではあれなので、もう少し、金城なら金城に絞って、例えばライディングパークであるとか観光農業とか、絞り込みで3つか4つを事前に用意して、その日のメンバーによって3班ないし4班ぐらいに分けるような、少し幅を持った方が良いのかなと思います。イメージ的には。どういうのが良いのか分からないけど。
- 野藤委員 今はそれぞれ、A B C Dテーマ別にテーブルを作って、それぞれに議員が何人か張りついて住民の方がテーマごとに時間を区切って移動するというイメージで良いんですかね。
- 牛尾昭委員 はい。鎌倉方式です。同じ方式を講師もイメージされていたので、同じなんだろうと思いました。
- 野藤委員 会の進め方とすれば、ざっとその日の流れをお知らせして、すぐそのように分かれて色々対話を始めるということで良いですよ。
- 牛尾昭委員 僕のイメージ的にはそう思います。一班の人数は5人だったかな。だから司会者だけはそのテーブルに残って、例えば私が農業をやるなら農業でこれを扱うとあって、メンバーは皆変わるじゃないですか。その時に前のメンバーがやったまとめについては皆さんに、「前のメンバーはこういうまとめをされてますよ」と皆さんに分かってもらって、その上で議論する、それを順番に繰り返していくのが良いだろうという話だったので。そういうことだろと思うんですがね。
- 笹田副委員長 市民の方を動かさなくても、議員が動けば良いですよ。
- 牛尾昭委員 それもありますよね、テーマを変えれば良いわけだから。
- 柳楽委員 ちょっとすみません、今日みたいに模造紙を用意してということですよ。今日は直接書いていたんですが、やっぱり付箋があつてという方が良いなと思います。
- 牛尾昭委員 昔、商店街がやっていたじゃない。
- 柳楽委員 市民の方を動かさないということであれば、その紙とファシリテータが移動するみたいな形で良いのかなと。
- 笹田副委員長 その紙を見せたりしてね、交代で。
- 牛尾昭委員 私は市民が動いた方が分かりやすいと思う。例えばこのテーブルでやって、それぞれ色んな意見が出てくるじゃない。そうするとそれはそのまま残したまま、新しい人が来て「前の人はこういう意見でしたよ」ということで、プラスアルファした方が。それを全部持って歩くよりも、テーブルは固定して、ファシリテータも固定して、市民の方に動いてもらう方がスムーズだと思う。まあどちらを取るかだろうがね。
- 田畑委員長 まあ1回目なんでね、なかなかそこまで順応できる市民の人がいれば良

いが。

牛尾昭委員長

どちらがやりやすいかということ、取りあえず現時点で、やる前に僕らが判断して、どちらかの方法を取るしかないと思うんです。市民を動かすか僕らが動くか。

笹田副委員長

あんまり数が多すぎたら、市民を動かしたら大変になるんですよ。

牛尾昭委員長

ああそれはあるね。

笹田副委員長

例えば十数名だったら回しても良いけど、金城とか30名以上来て、入れ替わってくださいと言ったら、ごちゃごちゃして。

牛尾昭委員長

金城みたいに60人もいらっしやれば大事だな。

田畑委員長

金城、旭になると人数が多すぎるんで。10組の人間を動かすとなるとちよっと大変だ。

牛尾昭委員長

ちょっと多めにしないといけないね。

田畑委員長

そうすると5.6人のメンバーから始めるような形にしないと、スペースも足らなくなる。

笹田副委員長

議員の数も居ません。

田畑委員長

今までの議会報告会の人数からいくと、弥栄とあれが20人程度で、一番良いよね。その代わり、バラけても発言されるかどうかという問題は別の問題として。

牛尾昭委員長

委員長、今度の手法だったら増えるかもしれないしな。井戸端会だから行こうかという人が。

田畑委員長

はいその他。意見交換会の運営、どのように進行していくかについて、今日ある程度固めておかないと、明後日、12日の全協が終わった後、全議員の皆さんに周知すると共に、各班の班長さんに充分理解しておいていただかないと。9月議会が始まってくるとなかなか、念入りに打合せする時間も無くなってきますので。短時間で、研修が終わったばかりで頭が冴えていると思いますんで。

柳楽委員

すみません、先生のくださった資料に、報告会の開催趣旨の説明というのが最初にあるじゃないですか。あの内容とかルールをしっかりと作っておかないと苦しいんだろうな、というのがありますが、それは誰が考えるんですか。

田畑委員長

皆さんですよ。

柳楽委員

ここでですか。

田畑委員長

うん。こういうルールで、こういう運営についてやろうということ。結局、井戸端会の進行に関することは全部ここで決めて、それで発表して、全議員の皆さんにご承知願うということですので、今日、会の進行するに

においては、何でもアリも大切だろうけどルールもないと思いますので。それではどのような、参加者に期待してもらう部分とルールの部分をどのように確認するかということも踏まえて意見を。

野藤委員

前回パワーポイントでそれをやったわけですけど、このたびは時間の流れや、パワーポイントで事前の説明、今言ったようなルールとか、そのようなものをある程度すると、当日その場でのテーマに沿ったものをパワーポイントで出しておくのかどうかもあるんですけど、どのような。

田畑委員長

イメージとすれば、5月の分は議会報告会で3月定例会における審議状況、可決した議案、主な事業についてパワーポイントで報告だけです。今度は意見を交換するということですから、パワーポイントで説明するよりも、先ほど先生も仰ったように、農業と観光をどう並列させるかということになると、地域の方は、農業はこうしないと、観光はどうだこうだという意見の交換でということになるから、パワーポイントは必ずしも必要ないと僕は思うんだけどね。

岡本委員

良いですか。先ほど副委員長と少し話をしていたんですが、この資料の27ページにルールということで、そういうことを、皆でどうするああするという時間はなかなかありませんので、正副委員長で少し考えてもらって部分づくりをしていただいて。そしてこのたびはパワーポイントという方式ではなくて模造紙に、例えばその地区の問題、課題が出てますよね。例えば、まちづくりについてという、その中の2つないし3つのテーマをそこに掲げて、それでルールなり、例えば「こういう目的でこのようにやります」と書かれたもので説明して、それでワークショップをしながら、一つそれで理解してください。パワーポイントはどうしても画面を消してしまうし、暗い場でやる形になるので、模造紙であのくらいのサイズだったらコピー出来るはずですから、あれで各班が持っていく。難しいですか。

外浦次長

私は……イメージとしてですか。

岡本委員

図で書けるはずなんだけどね。コピーで。よく看板を作るでしょう。あのスタイルの中におち込んで印刷したら良いわけだから。模造紙のあれはB1サイズになるはずですから、B1サイズで縦に羅列しているという形。

田中書記

今日の模造紙より小さくなくても……。

岡本委員

いやあのサイズ。あのサイズで出来るはずよ。

外浦次長

幅は決まっています。長さが自由になるくらいで。

岡本委員

出来なければ書けば良い。習字が上手い人いないの。

布施委員

ルールを決めるのは大事だと思うんですが、イレギュラーがあっても最初だから。これを決めなければいけないということではなく、その場において

最低限のルールを、今ここありますよね、この大事な分だけ出して置いて、各自やっていく。そういうやり方の方が良いと思うんですが。もうこれは絶対守らないといけないとか、そういうことをやると……。

岡本委員

その分の……。

布施委員

何かすごく固いような気がして。井戸端会なのに。

岡本委員

そんなに固いではなくて、細かく長い文じゃなくてポイントだけ箇条書きで、こういうルールを作りましたというのを出してあげれば良いわけで。話し合いの時に色んな感じが…。

笹田副委員長

否定しない方がいいと言われましたよね。

布施委員

流れ方を確認しておいた方が良く思うんですよ。小グループに分けるのか、5・6人で分けてやる、多い所についてはテーマを決める。司会者は1人いる、ファシリテータは各テーブルに1人ずつつく、20分でやるというような、大まかな決め方をしておかないと。

田畑委員長

メンバー表は分からないが、旭に行くのは誰かな。

外浦次長

旭は5名ですね、布施議員、西村議員……。

田畑委員長

あそこは60人くらい来るんだよ。

布施委員

それは今まではね。

田畑委員長

ということは熱心だから、60人は多いかもしれないが、50人から60人くらい。旭と金城は。

牛尾昭委員

何人来ても5人だから、5テーブルしか出来ないよ。

布施委員

だから10人になっても仕方ないことだね。

柳楽委員

今回、正副議長はどうされるんですか。

外浦次長

1グループに議員さん1人が良いですか。2人とかじゃなくて。

(「1人で良い」という声あり)

田畑委員長

そのために研修したんだから。

布施委員

皆さんの意見を聞こうというやつだからね。

岡本委員

だから、そのスタンスで行けばこちらが発言してどうだこうだと……。

田畑委員長

こちらはまとめるだけだな。

牛尾昭委員

だから市民同士でぶつかった時に調整をする役だ。

田畑委員長

行事が必要になってくる。

牛尾昭委員

それと、何でも好きなことを言ってやるというような、楽しい雰囲気を作るのが必要だから。

笹田副委員長

にこにこしてやらないと。怒っちゃいけない雰囲気を作らないと。あと今日も言われたのが、現状を市民は分からないから説明した方が良くということと言われたので、多分テーマ、班長でも良いし班で話し合ってもら

って、現状をまず伝えてから、それプラス先ほど牛尾さんが言われたように3つくらいのテーマを班で絞ってもらって、それを話してもらえばとっかかりが早いのかなと思って。

柳楽委員

大きいテーマに繋がる分の現状ということですよな。
(「そうそう」という声あり)

笹田副委員長

テーマの現状を、今浜田市はこうだよというのを班で話し合ってもらって、それプラス3つ4つくらい考えてきて、人数が少なければ2つになるかもしれないし、人数が多かったら4つくらいかもしれないし。そういった所で班で話しあってもらおうという方が、市民には入りやすいのかなと思うんですが。

牛尾昭委員

委員長が仰るように、僕は例えば三隅なら、ゆうひパークの決算書出たけど、赤字は減ってきたけど依然として赤字だとか、2年後に通ったらもっと酷いだろうな、例えばそういう現状を皆さんにお伝えして、では皆はどう思われますかという、そういう分かりやすい点は良いんだけど、そうじゃないテーマもあるよね。テーマの絞り込みは私らがしないといけないだろう。もしくは自治区の議員さんにやってもらおうか。その辺どこかで役割分担を決めておかないと。

笹田副委員長

各班でやって貰えば良いんじゃないですか。

足立委員

牛尾委員が言われたとおり、先ほどの研修の中で、情報をこちらが提示しないとイケませんので。終わった後に先生とお話したんですが、その情報によって最後のゴールの部分「ごあ」の部分はこちらでコントロールできるんだろうなと思ったんですよ。ですので、出す情報をクローズな情報である程度絞り上げて、その情報をベースに議論を進めた方が、時間内でもあるし話も大幅に脱線することは多分ないだろうと推測できるので、その辺の出す情報をどうするかをテーマに沿って絞った情報を提供することは考えていかないとまずいのかなと。

岡本委員

それを班でやるの。

足立委員

それをどうした方が良いでしょうね。ここでやれば多分膨大な時間が必要でしょう。

笹田副委員長

1つの所もあるから。1つの所は話し合ってもらったらすぐ済むことなので。

岡本委員

それじゃ班でやってもらって、班でやったものを正副委員長でテイクバックしてもらって、出た分をもし我々が共有出来れば共有して、いやこれにはこういう問題を少し足した方が良いんじゃないのということであれば、足させてもらったり。

牛尾昭委員 そうしないと班に力がつかないかもしれないね。
(「うん」という声あり)

笹田副委員長 全部お前らに任せたぞと言われますけど。
田畑委員長 ボールを投げられっぱなしではな。それじゃあれかな田中さん。
布施委員 全協の後にやるということですか。
田畑委員長 全協の後に各班に今のボールを投げて……。
笹田副委員長 9月の開会日に言おうかという話をしています。決まっているある程度
の話をしておいて、開会初日に班に分かれてそのテーマを絞ってもらう。

岡本委員 定例会の開会日に。
田畑委員長 明日、明後日、全協があるだろう。あの後に。
布施委員 あの後は行財政が。一杯ある、3つある。全協の後に2つありますよね。
外浦次長 はい。
牛尾昭委員 あの日は無理だよ。
田畑委員長 全協が終わった時に、考えておいてくれと各班ごとに。
田中書記 今お話になったことを大まかに纏めたことを、全協の最後に皆さんに言
っておいて、投げかけますよね。定例会の開会日、8月31日の常任委員会
終了後に、班長さんだけに集まっていたいで詳しく説明をして……。

田畑委員長 説明じゃない、書いてこないと
田中書記 それがいつかはあれですけど、その辺からもう班で話し合いを進めてい
っていた方がいいのかなと思うんですが。

笹田副委員長 今日やったことを明後日言うでしょう。明後日言って課題を班に投げか
けておいて、初日の常任委員会終了後に班で集まってもらって班で話し合
いをしてもらえば良いんですよ。

田中書記 班で話し合ってもらいますか。班長さんには一応把握しておいてもらわ
ないといけないと思うんですよ。

岡本委員 現状をですか。
田中書記 そうです。
笹田副委員長 それを明後日言うんですか。
田中書記 明後日、皆さんの所で。
田畑委員長 皆さんの前でこれを全部言うんだよ。
岡本委員 とりあえず皆、班に入っているんじゃないの。
笹田副委員長 入っていると思いますよ。
田中書記 分かれていますよね、皆さんいらっしゃるから。
外浦次長 うん。
(以下自由討議)

田畑委員長

はい、それでは。整理整頓して良いですか。

(「はい」という声あり)

議題1の井戸端会の意見交換会の運営については、一応各班ごとに日時と場所は既に決定しています。運営については5人から、参加人員の都合にもよると思いますが、5、6人のグループで意見を出し合ってもらおうということ。

布施委員

小グループでね。

田畑委員長

うん、小グループでいくと。今回は井戸端会ということですが、5月の議会報告会では金城・旭の両自治区において、だいたい50名を越える住民の方に参加していただいています。その場においては参加、今回も同じぐらいの住民の方が参加されるかどうか分かりませんが、参加人員を見た上で、グループ人数が多くなるかもしれません。旭や金城に行かれる班長さんは、その辺の配慮をお願いしておきたいと思います。

既に、講師先生が持っておられました井戸端会のポスターが既に出来上がっています。12日の全協が終わった時点で議員の皆さんに3枚程度持たせると思っています。各会場におけるテーマの内訳というか、小明細を作ってくださいよう各班をお願いします。時間がかかるかもしれませんが。

布施委員

個性を活かしたまちづくり、旭自治区はそれが大きなテーマですよ。ブレイクダウンしたような、個性とは自分たちのまちの良い所は何かというのを出してもらう。そういう小さいテーマを、グループによって……。

牛尾昭委員

班によって変えると。

布施委員

班によって変えるということですよ。

牛尾昭委員

ただやっぱり、これをやらなければいけないというテーマを班に言っておかないといけないことはないか。それが欠落するとは思えないけど。

笹田副委員長

皆班に入っていらっしゃるから、それを言ってもらえば良いじゃないですか。

岡本委員

私ちょっと思ったのは、既に委員長はあれが出来ているから配れという話ですが、先ほどの講師先生の話では、これじゃ少しインパクトが無いと。実際具体的なサブタイトルの問題もあるでしょうし、場面であったり、そういうものに対して何らかの形で今表に出ているものに対して裏にそのものを出していかないと。

田畑委員長

それを出すのに各班をお願いして、議会初日……。

岡本委員

そういう考え方もあるね。配りますから皆で……。

田畑委員長

それはとりあえず、大まかな全体の議会報告会がありますよというのは配るけども、今度は弥栄、僕らは弥栄に行くんだけど、弥栄自治区におけ

る井戸端会については、農業と観光とかその小細をいくつか付けたものを持って行って配ると。

岡本委員 わかりました。

田畑委員長 はい。

岡本委員 はい。

田畑委員長 よろしいですか。

(「はい」という声あり)

それと今日、模造紙とマジックを用意していただいてあの紙に書くと。今日やったような……。

笹田副委員長 付箋を用意してもらって。

布施委員 付箋が一番良いよ。

笹田副委員長 付箋だったら貼っていけば良い。

布施委員 このぐらいのがあるじゃない。一番大きいのが。あれに。

柳楽委員 鉛筆で良いんですかね。

(「はい」という声あり)

田畑委員長 では付箋で統一するか。

柳楽委員 その方が。

布施委員 貼っていった方が。

田中書記 今日、こっちは小さいのを貼っていらっしやいましたよね。笹田委員のグループは大きいのに書いて、また書いていらっしやいましたけど。

布施委員 違う違う、あれは最初の岡本さんの配慮でやられただけで。

田中書記 あれも分かりやすいかなと思ったんですけど、一般市民の方には。どっちが……付箋をそのまま貼る方が……小さいこのぐらいの付箋を。

岡本委員 糊がついているのがあるからあれを。

田中書記 あれで良いですか。

牛尾昭委員 付箋の一番大きいのは、どのぐらいの面積があるのかな。

野藤委員 このぐらい。

田畑委員長 それは大きすぎるわ。大きすぎたら紙に貼られないだろう。

岡本委員 重ねれば良い。

笹田副委員長 出した意見を活かすというのが市民の意見を。

田畑委員長 今日もありましたが……。

外浦次長 最後の記録みたいな、後に残す、活かすための記録と言いますか。それは模造紙に付箋を貼って、それを恐らくその場ではなかなか、どういう形に持っていくわけですか。纏めるんじゃないくて、帰って班でという形になるんでしょうか。その辺は考え過ぎですかね。

布施委員 今日はこのような、大きなテーマだったら「個性を活かしたまちづくり」という題になって、「温泉を活かしたまちづくりのためにはどうするか」ということで、色んな付箋を貼っていくわけですね。それで問題点とか出てくると思います。人が来ないとか、なんだかんだ競合しているとか。そして、最終的にどうしたら人が呼べるか、地域を活かしたまちづくりが出来るかというような、答えを出さないといけないでしょう、そのグループで。ただ貼るだけですか。

布施委員 結論を出すんじゃないけど、ある程度やらないといけないから、意見を聞くだけじゃないですよ。集約しないとイケない。

牛尾昭委員 だから纏めるんじゃないで。

笹田副委員長 議員がするんじゃないでグループがするんですよ。この中だったら、委員長と話してやらないといけないことで、最後に大切なポイントを2つ纏めますと書いてあるので。例えば温泉なら2つでも3つでも4つでもポイントを纏めてもらって、それで纏めになると思うんですよ。

布施委員 それを最後に発表するの。

牛尾昭委員 各グループがAというテーマでこのような纏めをしましたと。それについて場内から質問がある場合もあるわけだから。そういう所まで一応持っていくわけでしょう。

足立委員 発表までいきますか。

牛尾昭委員 そこまでやるかどうかは別だけど。鎌倉はそこまでやっているんだけど。それに対しての質疑も受けているわけよ。何故そういう纏め方をしたかという。時間があれば理想ではあるけど、その次に置いても良いし、皆さんの話し合いの中で、今回はここまでで置こうやというレベルで僕は良いと思うけど。

笹田副委員長 何故こんな纏めにしたんだと言え、また喧嘩になるから。にこにこして。

岡本委員 最後の纏めですが、確かに集約したものを出していくんですが、過程では今みたいにワークショップで皆さんから意見をいただきましたね。このことについてはその班で整理して表にしておいて、我々としてはこれは管理させてもらいますし、状況によっては執行部に話をさせてもらいますと。とりあえず意見はこういうものですと。こういう形で納めていくしかないだろうと思うんですよ。今後あなた方これをどう使うんだと言われたら、これを参考にしてもしかしたら一般質問で使うかもしれない。そのことを強調すると問題があるのでこれは置いておいて、もし個別に言われたら、皆さんの意見を提言として使いたいと思うとかいう、個人的なものを言っ

でもらうという形で纏め上げる。

笹田副委員長 議会だよりを利用してね。

牛尾昭委員 講師先生はそう言っていたね。だから委員長、皆さん来て「よし言ってやろうか」という行動意識を持たせようとする、ある程度優れた提案については、実現は別にしてもそれぞれの議員がどこかで一般質問として政策提案しますという、それくらいについては喋らないといけないと思う。実現するかどうかは別にしても、どこかでやるというようなことはね。

澁谷委員 良いですか。今その辺の所を委員会に持ち帰ってきちんとしないと。それと、1回は模擬の、何パターンかありますよね、全部じゃないんだけど1班がやったのを皆で見て、それを質問の時に議会事務局さんらに参加してもらって、1回模擬をやった方が良いんじゃないか。それを見てどのように進めていくかというのを統一すると。バラバラになるということも先ほど言っておられた。

牛尾昭委員 うん、だから「あんたもう1回見て立ちあつてよ」と言ったんだ。

柳楽委員 すみません、付箋に書くんですが今日の場合は出された意見を、書く人が書いたじゃないですか。今度やる時の場合も、言われたことを誰かが書いて貼るという形なんですか。それともよくある、これについてどのように思われますかというのを言ってそれぞれが書いた物をどんどん貼りだす……。

(「そうそう」という声あり)

ああ、そういう方式でということなんですね。

笹田副委員長 それだったら付箋要りませんもんね。

柳楽委員 いや、あれだと場を取るじゃないですか。模造紙に直接だと。それでどっちなのかなと思ったんですが。そうすると、同じような意見が一杯出るので、それをまた纏めないといけないと思うんですよ。

笹田副委員長 でも5、6人なんで。同じでも貼っておけば良いぐらい。

柳楽委員 その都度、見て同じようなものは同じように貼るという形で良いということですね。

笹田副委員長 ええ、そういう。

田畑委員長 貼る場所に困る必要はないと思います。議員が書いて付箋で貼ってあげるのも良いけど、ある程度人数が多かった時には、参加した市民の皆さんに書いてもらうということになって、書くのが好きな人はいないが嫌がる人は多いよね。

柳楽委員 そうです。何で思ったかと言ったら、皆さんに発言して貰うというのが大事なんだというのがあったじゃないですか。書くということになると、

書いただけで喋らない人ももしかしたら出てくるのかなという心配がちょっとあったので。

笹田副委員長 司会者の腕じゃないですか、書いたのを見て……。

柳楽委員 という形で。はい。

田畑委員長 今のような流れでよろしいですか。

(「はい」という声あり)

森谷委員 ちょっと確認したいことがあって。前回の比較で言うと、取りあえず議長または副議長の挨拶がありますよね。その後すぐ作業に入っちゃうわけですかね。

田畑委員長 開会の趣旨の説明と、あらたか会場設営は5月の議会報告会の参加人員程度を想定した人数で、会場設営は事前にはしておかないと具合が悪いかなと個人的には思ってるんですよ。例えば一番多い所ですよ。金城と旭が一番多くて石見が何人だったかな、30人以上はおられたと思うんですよ。特に人数の多かった場所においては、ほぼ同じくらい来られると想定した場合、最初の配置が今日の全協室みたいになっているからね。それで議長もしくは副議長に挨拶していただいて、それから班長が趣旨や流れ、方法等について挨拶する傍らで説明していただいて、それから入っていけばと今思っているんですが。これも12日に各委員さんに説明して、ご理解いただいた後にやってということになるかと思います。まだ井戸端会については、議運が23日だったかな。

外浦次長 議運は24ですね。

田畑委員長 24日、まだ議会運営委員会の方に承認をいただけていませんので、24日の議会運営委員会で、この井戸端会については承認していただいて実施となっているかと思います。議会運営委員会で反対はないと思うので、このまま進んでいきたいと思っています。

森谷委員 ということは、その設営が終わって、我々メンバーが各島に付くんだら、島は5つなんですよ。

田畑委員長 5つというか……。

森谷委員 で、人が増える時にはその1つずつの島が大きくなるというイメージでよろしいんですね。

田畑委員長 そうです。5つ全部……森谷さんはどの会場に行くの。多くなっても島は増やせないからね。

外浦次長 森谷議員は三隅です。

田畑委員長 大きさを増やすんだ。

森谷委員 6人を10人にするだとか。

田畑委員長
森谷委員 そうせざるを得ないです。
それで、皆がぐるぐる回って完成させますよね。最初の方は自分のは分かるけど、2番目3番目のグループの意見は分からずに次に回りますよね。そのまま置いたら中途半端のように感じるんですけど。先ほど誰かが言われたように、完成して終わった時点で「はいお疲れ様」みたいに終わっちゃうんですか。それとも牛尾さんが先ほど少し言われた、発表とか、小さい意味の発表もあるんですか。

田畑委員長 まだ綺麗に最初から最後までイメージが僕は出来上がってないんですが、いずれにしても大きい項目で井戸端会をしましょうとなっています。各班によってサブタイトルを作っていて、例えば旭や弥栄、旭なら3つぐらいサブタイトル作っていて、旭温泉の有効活用だとか農業支援がどうだとか、インパクトのあるテーマを作っていて、最後は発表していただくことが僕は大切だろうと思うんだけどね。

森谷委員 遅れて来た人の取扱いなんですけど、今回遅れて来た人は説明を聞けないことになるので、継子扱いするんですか。

田畑委員長 継子扱いということはないが。

森谷委員 誰かが説明してきっちり話に加わってもらえるんですか。そこを聞きたいです。

田畑委員長 そのように配慮してあげないと、来たら継子だったとなれば二度と来なくなるからね。

森谷委員 確認したい事項は以上です。

田畑委員長 その他。

笹田副委員長 良いですか。何か用意しないといけないでしょう。アンケートとかも取るわけでしょう。

田中書記 良いですか、今言われたのは模造紙、付箋、記入するもの（マジックや鉛筆）、アンケート用紙。アンケート内容はまた後日考えないといけません。そのくらいになると思います。

笹田副委員長 それだったら、今から決めるこのやり方を1枚プリントしておいて、それを置いておいてあげれば良いかなと。

田中書記 テーマとルールと会の流れですかね、あれを紙媒体にしたものがあれば良いんですかね。

澁谷委員 先ほど先生が言ったのは、各会場ごとに1枚ずつくらい作らないといけないと。大きなテーマと具体的なテーマと。

牛尾昭委員 それを今話していた。

岡本委員 飽くまで会場の案内看板は、議会報告会なの、それとも井戸端会なの。

牛尾昭委員	井戸端会。
岡本委員	それも作らないといけないってこと。
田中書記	会場の看板ですか。
岡本委員	会場の……。
田中書記	今日みたいな横断幕ですよ。
岡本委員	そう横断幕。
牛尾昭委員	議会報告会じゃなくて井戸端会。
岡本委員	井戸端会という。今まで議会報告会というのを2、3年ずっと使ってきているでしょう。
田畑委員長	今までは議会報告会しかしてなかったから。
外浦次長	井戸端会というのを作ります。
牛尾昭委員	でも春は議会報告会だな。
外浦次長	その都度、その都度。
澁谷委員	毎回印刷しているでしょう。
田中書記	はい、年度が入っているのです。
牛尾昭委員	よろしくお願いします。
田畑委員長	田中さん良いですか。
田中書記	はい。
田畑委員長	委員の皆さんからその他。 (「ありません」という声あり) ないですか。ないようでしたらよろしいですか。
田中書記	もう1点良いですか。最後に先ほど言われた、集約した物ですね、班ごとで井戸端会が終わった後。集約した物を挙げていただいたものをホームページに載せた方が良いですかね。
笹田副委員長	報告しないといけないと思うんですよ。
田中書記	それは要ると思うんですよ。
田畑委員長	各班で井戸端会における、今度は議事録と言っても全部文字が残っていますから。
田中書記	記録は取れないと思うんですよ。
田畑委員長	報告書を出していただいたいものを議会だよりに……。
田中書記	載せる、ホームページに載せる。今回見ていただいたら分かるんですけど、出てきた報告書をPDFで取ってホームページでそのまま見られるようにしてあるので、ああいう風で良いですかね。
田畑委員長	ああいうので。それは各班の班長さんをお願いします。
田中書記	はい。それと、執行部に最初の議会報告会をでしたら、意見を要望とい

う形で言っていますが、それはしないということで良いですね。今の流れでいくと。そういったことは全くしないということで。

田畑委員長

まあ……。

岡本委員

でも出る可能性はあるわね。

牛尾昭委員

やってから考えれば良いじゃない。

田中書記

良いですかね。

田畑委員長

その辺の判断は……。

外浦次長

伝えるのは伝えるというスタンスじゃないですか。前は回答を求めたりしたんですけど。

(「伝えるだけで良いじゃないか」という声あり)

田中書記

はい。最後はそこに行き着くということで良いですかね、はい。

笹田副委員長

副議長が仰った、出たテーマに纏めたものを委員会で話し合うとか、あ
あいうことをしますと言っていたから。

田中書記

そのまま載せるんですね。はい。

田畑委員長

良いですか。事務局も良いですか。

田中書記

はい。

田畑委員長

委員の皆さんその他。

(「ありません」という声あり)

ないようですので、以上をもちまして調査会を終わります。

[17時 00 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 田畑 敬二